



令和2年3月
志比田こども園

3月の園だより

春をつげる草花のつぼみが膨らみはじめ、きれいな花を咲かせるのを、今か今かと待っているようです。早いもので、今年度最後の月となりました。子どもたちは、「もうすぐ〇〇組さん!」と期待も高まり、ドキドキ・ワクワクする気持ちに胸を膨らませています。この1年、様々な経験をして成長した子どもたち。最後の1ヶ月も毎日を大切に過ごしたいと思います。

また、保護者の皆様方には、色々な面で、ご支援ご協力をいただきましてありがとうございました。

今月の行事予定

12日(木)	誕生会&お別れ会	24日(火)	お弁当の日 レクリエーション
14日(土)	卒園式(志比田自治公民館)	27日(金)	入園説明会(小松原地区公民館)
		31日(火)	修了式
5・19・26日(木)	体操教室(ばら・すみれ・さくら・ひまわり)		
2・9・16・23・30日(月)	音楽教室(ばら・すみれ・さくら・ひまわり)		
2・9日(月)、6日(金)	英語教室(ひまわり)		
16・23・30日(月)	英語教室(さくら)		

お知らせ・おねがい

●本年度は、奉仕作業は行いません。

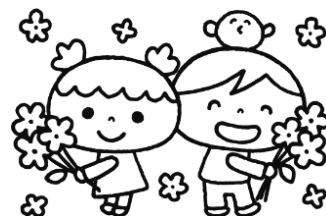
●入園説明会のお知らせ

27日(金)夜8時から、入園説明会を行います。

内容につきましては、後日プリントにてお知らせいたしますので、全員出席をお願いします。

●修了式について

31日(火)は、子どもだけの修了式を行います。



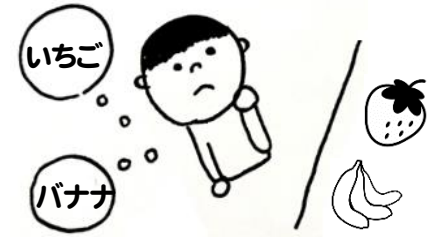
感情を言葉で言えるようになるために



3歳くらいになると、子どもは、「うれしい」と喜びの感情を言えるようになります。しかし、「かなしい・おこっている・くやしい」というネガティブな感情、不快な感情を言葉で言えるかどうかはかなり個人差があります。

子どもがことばを覚えるとき、どのようにして覚えていくのでしょうか?

それは、自分の一番欲しいもの、その欲求を満たしてくれる「もの」とその「ものの名前」が一致することが必要です。いちご、バナナなど「ものの名前」の獲得によって言葉を増やしていきます。



では、「感情」の場合はどうでしょうか?

「うれしい・かなしい・さみしい」など、感情を表す言葉には「もの」がありません。



こういった目に見えない感情を表す言葉の獲得には、「うれしいね・たのしいね・くやしかったね」という大人からの言葉かけが必要になります。大人の言葉かけによって、体に流れる感覚と結びついて言葉の獲得に繋がります。

【例えば】

遊んでいて、おもちゃをパッと取られた時、一気に不快な感情が流れた時、子どもにはこれが何なのかかわからずパニックになり泣くことがあります。そんな時、子どもが感じている感情を大人が察知して「かなしいね」適切な言葉で伝えてあげるようにすることで、子どもは自分の感情を「言葉」に置き換えることができるようになっていきます。泣いたことに対して「すぐに泣かない」などと伝えると、子どもはこの感情が何なのか分からないままなので感情を言葉にできず、コントロールすることも難しくなってきます。

泣ける子に育てよう



泣くことができるのは、それを受け止めてくれる大人がいて初めて成立します。子どもの「泣き」にも、しっかりと抱きしめ、受け止められたという経験があれば、屈辱や挫折を経験しても不快な感情をコントロールし、それに耐えられるように育っていきます。子どもの苦しみ、痛みにも大人も向き合っていることが大切です。